

## 平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

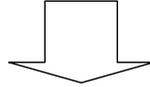
事業名		国際成人力調査		担当部局庁	生涯学習政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成21年度～		担当課室	調査企画課		調査企画課長 西澤 立志	
会計区分		一般会計		施策名	XⅢ-2 国際協力の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		各国の成人が日常生活や職場で必要とされる技能を測定することを目的とし、OECDで開発・実施される国際成人力調査の結果を用いて、我が国における成人の技能と教育・職業訓練との関係を分析するとともに、OECD諸国と相対的に比較分析し、我が国の生涯学習や学校教育に関する政策の立案に活用する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		OECDが開発する、各国の16歳から65歳を対象とした「読解力」、「数的思考力」、「ITを活用した問題解決能力」及び調査対象者の属性に関する調査である「国際成人力調査」へ参加する。参加国は、OECD加盟国等26か国の予定である。2010年に予備調査を実施した。今後のスケジュールとしては、2011年に本調査が実施され、2013年に国際報告書が出版される。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		予算 の 状 況	当初予算	-	76	69	59	63
			補正予算	-	-4	0	-	-
			繰越し等	-	0	0	-	-
			計	-	72	69	59	63
		執行額	-	70	65	-	-	
執行率(%)	-	97.2%	94.2%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		本事業は、OECDが開発する「国際成人力調査」への参加に必要な経費であり、その費用は各国のGDPを基に拠出額が定められていることから、定量的な成果目標を示すことは困難。		成果実績 達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		予算額(OECD拠出金)		活動実績 (当初見込み)	百万円	-	68	61
単位当たりコスト		本事業は国際成人力調査に参加するための経費を拠出金として支出するものであり、単位当たりコストの算出になじまない。		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	5.3百万円	4.5百万円	ユネスコ事業等拠出金(OECDへの拠出金)が増額となっているのは、当該事業の本調査が平成23年度に始まったことによる人件費等の事業予算が増加したこと及び参加国が減ったによるものである。この拠出金はOECDの関係会議で決定されるものであり、日本に提示された金額を支払わなくてはならないものである。				
	ユネスコ事業等拠出金	53.5百万円	58.0百万円					
	庁費	0.0百万円	0.3百万円					
計	58.8百万円	62.8百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>予算に応じて適切な執行がなされており、本事業の成果等の検証を行いつつ、政策推進上の諸課題への対応の優先度を考慮しながら、さらなる施策の推進等に努める必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、各国の成人が日常生活や職場で必要とされる技能を測定することを目的とし、OECDで開発・実施される国際成人力調査の結果を用いて、OECD諸国と相対的に比較分析し、我が国の生涯学習や学校教育に関する政策の立案に活用を図る事業であり、事業の必要性等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は、OECDが実施するものであり、各国のGDPを基に拠出額が定められていることから、各国の事情を反映する余地はなく、現在の事業内容を引き続き維持する。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省  
<65百万円>

本省執行分  
外国旅費等 4百万円を含む

〔 国際成人力調査への我が国の対応方針等の検討及び調査の枠組み等に対する我が国の政策的関心事項等の反映に必要な調整 〕



〔 参加国分担金の拠出 〕

(A) OECD(経済開発協力機構)  
<61百万円>

〔 国際成人力調査の開発 〕

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.OECD(経済開発協力機構)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
ユネスコ事業拠出金	国際成人力調査の開発等	61			
計		61	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	OECD	ユネスコ事業拠出金の支払い	61		-